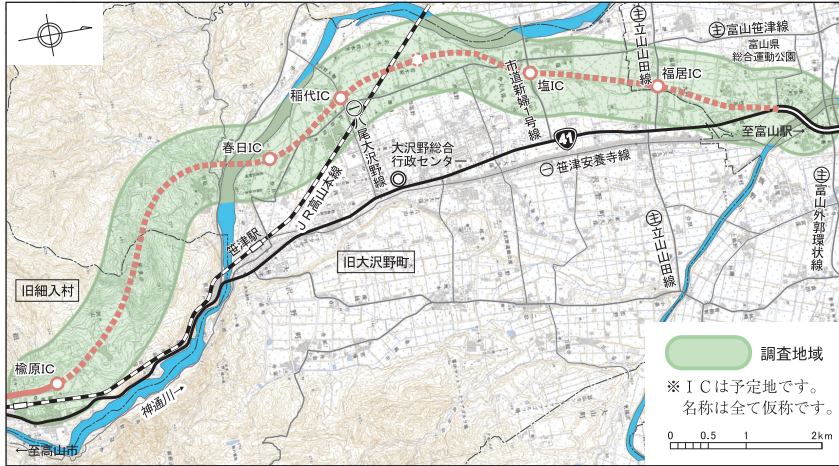


環境調査に着手します!

■調査対象範囲図 ※ルート帯の中心線から約500mの範囲を基本としています。



環境調査とは?

環境調査は、規模の大きな開発事業を行う場合、その行為が周辺の環境にどのような影響を与えるかを事前に『調査・予測・評価』し、より環境に配慮した事業にしてい

めに行うものです。今回の大沢野・富山南道路事業では、左記の表に示す項目について調査を実施します。調査の対象範囲は、今回決定したルート帯の中心線から約500mの範囲を基本として実施します。

現地での調査は平成20年度いっぱい実施する予定です。各項目に応じた必要な調査時期があります。現地での調査は一部着手させていたただいておりますが、4月から本格的に

大沢野・富山南道路かわら版

第7号

編集

大沢野富山南道路
PI実行委員会
<http://www.osawano-road.com/>

発行

国土交通省
北陸地方整備局
富山河川国道事務所
調査第二課
〒930-8537
富山市奥田新町2-1
TEL.(076) 443-4717

■調査項目と調査内容 ※その他の項目についても、今後実施する場合があります。

大項目	小項目	調査内容	調査実施予定
大気環境	大気質	二酸化窒素・浮遊粒子状物質・風向・風速等を把握する調査です。	1月～10月
	騒音	騒音・振動・交通量を把握する調査です。	9月～10月
	振動		
動物	ほ乳類	動物相・植物相を把握する調査です。生息する動物や植物の種類数、貴重な種の有無等を調べます。また、調査範囲内の植生図を作成します。	1月～10月
	鳥類		2月～6月
	は虫類		2月～8月
	両生類		2月～8月
	魚類		5月～10月
	昆虫類		4月～10月
	陸産貝類		5月～10月
	底生動物		2月～8月
植物	植物	4月～10月	
生態系	猛禽類	猛禽類(ワシタカ類)の生息状況を把握する調査です。	通年(毎月)

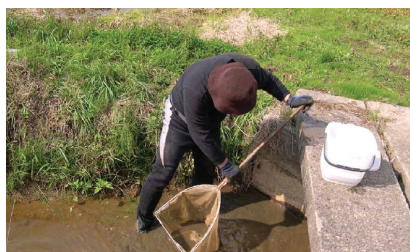
■調査のイメージ



大気質調査
設置の許可を受けた地点に、大気中の物質や風速を記録する器械を設置します。調査期間は10日程度です。



哺乳類調査
足跡や糞を探すフィールドサイン法、ネズミ等を捕まえるトラップ法、生態写真を撮るための無人撮影法等で調査します。



底生動物調査
タモ網やカゴワな等のトラップを使った採集を行います。水田付近の水路やため池、河川等で調査します。



猛禽類調査
双眼鏡や望遠鏡を使って観察を行います。あらかじめ設定した調査定点で、終日調査を行います。

調査問い合わせ先

国土交通省
北陸地方整備局
富山河川国道事務所
調査第二課
電話076-443-4717

実施する予定です。関係者には、その都度ご了解をいただきますが、調査員が対象地域で作業することとなりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

■調査の実施にあたって

- 調査は、項目ごとに測定機器、双眼鏡、捕虫網、タモ網等必要な機材を用いて実施します。
- 動植物の調査時間は、8時～17時を基本としますが、早朝あるいは夜間に実施する項目があります。
- 調査員は、「環境調査」と書かれた腕章を着用しています。
- 調査のために車両を使用しますが、一時駐車の際は、農作業や通行車両の妨げにならないように十分なスペースのある場所に駐車します。
- 調査は、公共施設や道路脇、水路等で実施しますが、崩れやすい畦への立ち入りは極力控え、畦の破損等の事故がおきないように十分に留意して実施します。